

# ひろか

だより

第367号  
 令和5年2月2日  
 発行  
 弘果 弘前中央青果株式会社  
 TEL 0172-27-5511

**弘前水産土曜市 春の福引大会**

弘前水産お買い物特産品券 1,000円

実施日 2/4・18・25/3/4

3月中に使える商品券が当たります

実施中



弘果青果初市競売の様子

**青果**

野菜、国産果実、輸入果実の初市が午前6時30分より行われました。県内野菜は「ほうれん草」「小松菜」「春菊」「せり」等の葉物や「生椎茸」「牛蒡」等、県外

## 青果

## 令和5年

# 初市

弘果、津軽りんご市場、弘前花きの弘果グループ3市場で1月5日、令和5年初市が行われました。各市場とも、生産者、買参人、関係者が多数来場し賑わい、競売前のセレモニーでは、消防団による纏振りや鏡開き等が行われ、新春のめでたい雰囲気の中、令和5年の取引が幕開けしました。

下旬の寒波や前進出荷の影響で県外産の入荷数量が減少しました。また県内産は、少雪や日中の気温が高い影響で生育が良く、葉物を中心に順調な入荷となっています。県内果実は「スチューベン」と「田舎館いちご」の入荷、県外果実は栃木県産「いちご」中心の入荷となりました。栃木県産「いちご」は、収穫期において低温の影響で着色が遅れ、数量減となりました。

初市後は、「みかん」が各産地の前進出荷により、静岡県産中心の販売となりました。中旬からは、「デコポン」をはじめ中晩柑類の入荷が増えていきま

す。県外いちごは順調な入荷から出回り量が多く、いちご全体の価格形成に大きく影響しています。

輸入果実は、「バナナ」「オレンジ」「パイナップル」「グレープフルーツ」が中心の取引となりました。世界的な気候変動や不安定な国際情勢の影響により、産地での生産コスト、日本への輸送コストの上昇、円安による影響で値上がり傾向となり、厳しい販売状況が続いています。

この日の競売では「サンふじ」上実が高値1万800円(前年比66.7%)、中値6480円(同80.0%)、安値5400円(同83.3%)となり、

昨年の堅調な相場が継続し、良い滑り出しとなりました。

## りんご



弘果りんご初市競売の様子

午前8時00分より行われたりんご初市には、1万6928箱(前年比141.0%)が上場され、生産者約600人、買参人約200人が来場しました。

この日の競売では「サンふじ」上実が高値1万800円(同66.7%)、中値6480円(同85.7%)、安値5400円(同90.9%)となりました。

## 津軽市場



津軽りんご市場初市競売の様子

対馬智範取締役部長は初市の取引と今後について「平年を上回るまずまずの取引となりました。他県産りんごも徐々に切り上がってくるので、これからは青森県産の独壇場となります。4年産は食味良く仕上がっていますので、これから更なる引き合いが強くなることを期待します」と話していました。

## 弘前花き



弘前花き初市競売の様子

午前10時より行われた初市では、「菊」「ユリ」「ラン」などの業務用の花をはじめ、「バラ」「カーネーション」等の切り花類等が入荷となりました。

成田和雄社長は花き業界の現状と今後について「コロナ禍での新しい生活様式が徐々に構築され、花き業界

においても冠婚葬祭需要が少しずつ復調しています。また生産面においても、燃料、資材価格の高騰が生産者の経営を圧迫しています。業界全体で取り組むべき課題は多々ありますが、安定供給を持続し、消費を定着させ、拡大する取り組みを活性化させていきたい」と話していました。

## りんご無冷蔵品等 早期出荷のお願い

弘果りんご部、津軽りんご市場では、初市後から「冷蔵品」「無冷蔵品」を区分けして販売しています。消費者の皆様へ鮮度の良いりんごをお届けするため、特に無冷蔵品は、早めの出荷をお願いいたします。

## ゴニンカン弘果カップ 開催中止のお知らせ

ゴニンカンはゲームの性質上「密」を避けられず、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和5年2月開催予定の第15回ゴニンカン弘果カップの中止が決定いたしました。

# 「農」の「業」を継ぐ

## 期待の後継者

### 工藤

### 和歩さん (30)



【園地所在地】 田舎館村枝川  
 【家族構成(同居)】 両親、妻、子供1人の5人家族  
 【作付状況】 とちおとめ・784坪(ハウス7棟)、ロイヤルクイーン・216坪(ハウス2棟)、夏秋いちご・320坪(ハウス4棟)

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

【就農年】 2022年11月  
 【きっかけ】 いちご栽培に情熱を持って取り組む家族の姿を見て育ちました。学生時代は収穫等の手伝いをしていたことがきっかけで、農業に興味を抱き、高校は農業経営科、大学は農業系の生物資源学部に進みました。卒業後は青森に戻り普通に就職をして、休みの日には収穫、選果等、家業の手伝いをしていました。家業を手伝う中で、多岐に渡る仕事をこなし、また「田舎館いちご」の普及に努めるため、仲間達と協力、切磋琢磨して活動している父の姿を見ていました。いつしか自分もその背中を追いつき、家業を盛り立てていきたいという気持ちが湧いてきました。そして、ただ「家業を継ぐ」という安易な気持ちではなく、真剣に、そして発展的に取り組んでいきたいという気持ちを家族に伝え、話し合いました。熱意が伝わったのかは解りませんが、理解を得て、本格的に就農しました。

【現在】 「学ぶことは真似ることから始まる」という言葉のとおり、栽培管理、収穫、選果、農業経営等、父のやり方を踏襲し、師匠(父)の下、ある意味「修行」に励んでいます。また、所属している「田舎館いちご研究会」の諸先輩方から、これまで構築してきた、高品質、食味の良さについて、惜しみなくアドバイスをいただいています。同志として向かって行く方向は同じでも、違った観点からのアドバイスはとても参考になり、ブランドを維持、発展していくため肝に銘じています。

【夢・展望】 家業として「田舎館いちご」を更に盛り上げていくため、自分に何が出来るかを常に考えています。労働力不足を解消する省力化への取り組み、新たな品種への挑戦、高騰する燃料対策等、いちご栽培を取り巻く諸問題に取り組み続けることこそがチャレンジであり、解決に至らずとも、良い方向に向かっていく努力をしていきたい。

【座右の銘】 「自分の価値を信じて人生前に進み続ける！」映画「ロッキー・ザ・ファイナル」で主人公が息子に語った言葉です。仕事に置き換えると、まだ経験や培ってきた技術も少なく、「自分の価値」を見出せていませんが、その価値を構築していくために日々の仕事に励んでいます。そしてこの言葉のように、自分の可能性や価値を信じて、人生を切り拓いていきます。



「ロイヤルクイーン」を収穫する工藤さん

当社が販売契約をしている「ロイヤルクイーン」は深紅のストロベリーと称される大粒系のいちごで、果肉は中心近くまで赤く、

甘く、香り高く、ジューシーな味わいが特徴です。田舎館いちご研究会の工藤弘樹さんは「ロイヤルクイーン」に着目し、2棟(216坪)のハウスで栽培しています。

12月下旬から収穫が始まり、現在ピークを迎えたハウスでは、工藤さんが一粒一粒丁寧に収穫を行い、選果、パック詰めを経て市場に出荷されます。

工藤さんは「今まで赤いので見栄えが良く、色、大き

えが良く、色、大き、食味も申し分なく、将来性がある品種だと思います。研究会では私を含め4人が栽培に取り組んでいますが、消費者の認知度が高まり、需要が見込めれば、栽培者が増え、栽培面積が拡大していくことが期待されます」と話しています。

「ロイヤルクイーン」は6月まで収穫、出荷されます。「ロイヤルクイーン」の栽培、販売に関するお問い合わせは、当社果実部までお願いいたします。

## 新春剪定勉強会開催



講師の美演と説明に耳を傾ける参加者

弘果りんご連絡協議会と津軽りんご市場連絡協議会の剪定勉強会が1月上旬、各地区の6会場において行われ、高品質なりんご生産に向けた剪定技術向上を目的に、各会場には多くの生産者が来場しました。

勉強会では、講師が樹形の方向性や樹勢の調整を考慮しながら剪定を実演。参加者は「剪定作業は、園地の地形・状況や生産者それぞれの考え方があり、マニュアル化が難しいですが、経験豊富な講師の考え方を反映し、自園地に置き換えていくこ

とが重要です。また、導入を考えていた省力化に必要な電動ノコギリや枝切ハサミ等を実演していたので、紙広告やネット上では解らない使用感を体感できたことも良かったと話していました。



他を圧倒した走りをみせた土屋選手

## 青森県スキー選手権大会開催

1月17日の5キロクラシカル競技では、横濱選手が左手首負傷の影響で、ストック一本でレースに臨み厳しい展開となりましたが、実績充分な両選手が躍動し、成年Aは横濱選手が、成年Bは土屋選手がそれぞれ頂点に立ちました。18日の10キロフリー競技には土屋選手が、2位に5分の大差をつけた庄巻のレースで、2冠を達成しました。

大会では両日とも、弘果から応援団が駆け付けました。コース脇にのぼり旗を掲げて、両選手を鼓舞し、フィニッシュの瞬間に、歓喜の拍手が湧き上がりました。

青森県スキー選手権大会結果

1月17日(火)	1月18日(水)
女子5キロクラシカル競技	女子10キロフリー競技
成年B 1位(総合1位)	1位 土屋 28分55秒7
土屋 15分21秒9	
成年A 1位(総合4位)	
横濱 18分19秒4	



ストック1本で力走する横濱選手

## 弘前総合地方卸売市場内業務等の制限について (1/31現在)

入場者	運送会社・取引業者・生産者・一般のお客様	消毒・マスク着用 (常時)
競売	セリ人	消毒・検温・マスク着用 (常時)
	買参人	人数制限 (競売1ヶ所につき1買参人あたり1名のみ参加) 消毒・検温・マスク着用 (常時)
	視察・見学	消毒・検温・マスク着用 (常時) 2週間前に申請・状況を勘案し判断

市場内業務等の制限は状況に応じて更新されますので、詳しくはHPをご確認ください

